

台風被害 19 号に対する技術対策について

2019 年 10 月 17 日

JA 中野市災害対策本部

台風 19 号（10/12）により甚大な被害が発生しました。被害に遭われた組合員の皆様へお見舞い申し上げます。被害に係る技術対策については下記を参考にしてください。尚、不明な点等は園芸課各担当までお問合せください。

台風 19 号：降雨量 10/12～13 合計 164.0 mm 瞬間最大風速 最大 17.5m/s（北東）

1. 施設（共通）

早めに施設の破損状況等の点検を行ってください。また、施設が破損した場合は、生育中の作物が破損しないように破損個所の応急処置を行ってください。また、燃料配管・電気機器の点検・確認をしてください。

2. 果樹

◆ 【重要】落果、冠水あるいは損傷した果実の取扱い（集荷）

① 冠水したりんご：^{えきびょう}疫病や内部褐変発生の恐れがあるため荷受けできません。畑にて処分してください。

② 落果したりんご：加工として荷受けします。ただし、極端に泥のついたものや腐敗しているものは荷受けできません。尚、JA 加工集荷一覧表は各共選所に掲示しています。お手数ですが、各自ご確認頂くか、共選所までお問合せください。

◆ 樹体が倒伏・格枝が損傷した場合

① 倒伏樹は早期に立て直し、支柱で固定する。根が露出した場合は土盛り、マルチや灌水を行い、乾燥防止と新根発生に努める。

② 大枝が裂けたものは、ボルト、カスガイで固定するか、縄でしばって、支柱で補強し、傷口を接合させる。完全に裂けたものは傷口を滑らかに削り、農薬登録のある塗布剤（トップジン M ペースト等）を塗布する。尚、損傷程度がひどい場合は、着果量を減らす等の対策を講じる

◆ 薬剤散布 *詳しくは果樹特報 No10・ももネクタリン特報 No12・プラム特報 No10 を参考にしてください。

① りんご輪紋病・炭そ病予防：アリエッティ C 水和剤 1000 倍（前日・3 回）等を散布する。

② 核果類（もも・プラム等）：収穫後のボルドー散布を実施する。

◆ その他

① 浸水または滞水している園では、まず排水対策を講じる。特にもも・桜桃等は根の障害を受けやすいので、早急に排水対策を講じて樹体保護を図る。

② 土砂の堆積が多い場合は、根の呼吸が妨げられ障害が出やすいので、土砂を早めに取り除く。特に苗木～若木は影響を受け易いので、根際部の土砂を早めに取り除く。

③ 収穫中のぶどう棚が倒壊した場合は、棚と地上部に空間を作るように支柱を入れ、なるべく風通しを良くし、収穫を急いでください。また、果樹棚・トレリス等の緩みや損傷を確認し補修を行ってください。

④ 台風で被害を受けた農薬の空き瓶等は、本年 12 月に行う JA 農薬回収に併せて出してください。

3. 野菜

- ① 冠水または浸水の被害を受けた場合は、速やかに排水を講じる。
- ② アスパラガス等の茎葉が損傷した場合は、速やかに殺菌剤（コサイド 3000 の 2,000 倍）の散布により病害を防ぐ。
- ③ ネギ類、野沢菜など病害の発生が心配される圃場では、野菜類に登録のあるコサイド 3000 の 2,000 倍等を速やかに散布する。
- ④ 上記薬剤散布に併せて、樹勢回復のため、アミノメリット特青等（500～600 倍）の葉面散布剤を加用してもよい。

4. 花き

- ① 冠水または浸水の被害を受けた場合は、速やかな排水に努める。
- ② 浸水したシャクヤク、ストック、コギクは、トップジン M 水和剤 1,500 倍の散布により病害発生を予防する。
- ③ 施設栽培では、被覆資材、支柱、防除ネット等の栽培施設や資材の点検及び修復を行う。特に電照、暖房等については速やかに作動状況の点検を行う。

5. （参考）りんご JA 加工集荷について *詳しくは各共選所へ一覧表を掲示しています。確認ください。

- ◆ 冠水りんご：疫病・内部褐変発生の危険性があるため出荷できません。畑にて処分してください。
- ◆ 台風落果物は落果後 2～3 日以内に拾い、各集荷場所へ搬入してください。
- ◆ 泥のついたもの・腐敗果・腐敗につながる生傷果以外の受け入れを基本とします。
- ◆ 出荷形態：りんごコンテナ（18 kg）
- ◆ 中生種：通常荷受け ⇒ メッシュに入れてください。
- ◆ 秋映・スイート・ゴールド：品種別に通常荷受け ⇒ メッシュに入れてください。
- ◆ ふじ：風落荷受け ⇒ ふじ専用メッシュに入れてください。伝票「風落」